

「ICT を活用した授業づくり学習会」

8月1日に、本校情報教育部の3名の教員を講師とし、ICTに関するワークショップ型の学習会を行いました。グループに分かれ、実際にパソコンやiPadを操作しながら、「プログラミング教育」「動画編集」「Microsoft365」について学びました。

【プログラミング教育】



國分章夫教諭



現行の学習指導要領より、必修化および拡充されているプログラミング教育。まずは「プログラミング教育」のねらいや育む資質・能力について学んだ後、スクラッチを使ったプログラミングを体験しました。「算数・数学に使える」「スクラッチや音楽のプログラムを作成したら、担当学級の学習でも活用できそう」といった感想が聞かれました。

【動画編集】



篠田 純央教諭



iPadのアプリ(iMovie)を使って、プロジェクトの作成、カット編集、タイトルの挿入などの基本的な動画編集を行いました。参加者からは、「さっそく行事等の事前学習や振り返りで活用したい」「日常生活の指導等において、編集した動画を手本(教材)として活用できそう」といった声が聞かれました。

【Microsoft365】



佐藤美由起 実習教諭



Microsoft365とGoogleの違いや、Teamsの使い方について学びました。また、Whiteboardを活用してバケツ稲の観察記録を作成している授業の紹介もありました。実際にチームに参加しチャットで投稿したり、同時編集やビデオ通話等の機能を知ったりすることで、授業だけでなく、校務の効率化という視点からも、ICTの有用性を感じました。

学習会後は、「ICTへの苦手意識があったけれど、説明が分かりやすく楽しく参加できた」「さっそく活用してみたい」「他のグループの内容もぜひ知りたい」といった声が多く聞かれ、教員間でICT活用への意欲が高まった様子が伺えました。ICTを用いることで、どんな効果が期待できるのかを改めて意識して考えながら、2学期以降の授業や校務において、活用する機会を増やしていきたいと思えます。